2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年11月10日

上場会社名　　ケミプロ化成株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　4960　　ＵＲＬ　https://www.chemipro.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）兼俊　寿志
問合せ先責任者　（役職名）財務経理部長　　（氏名）徳地　昭博　　ＴＥＬ　078（393）2524
半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	5,026	15.4	186	78.2	125	－	83	－
2026年３月期中間期	4,357	△14.1	104	△41.7	△16	－	3	△91.2

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	5.18	－
2026年３月期中間期	0.21	－

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	12,435	5,064	40.7	314.32
2026年３月期	12,817	4,999	39.0	310.29

（参考）自己資本　　2027年３月期中間期　　5,064百万円　　2026年３月期　　4,999百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	5.00	5.00
2027年３月期	－	0.00			
2027年３月期（予想）			－	3.00	3.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	17.4	350	2.5	250	94.8	160	△45.7	9.93

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	16,623,613株	2026年３月期	16,623,613株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	510,402株	2026年３月期	510,602株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	16,113,087株	2026年３月期中間期	16,080,985株

（注）1.期末自己株式には、信託が保有する当社株式（2026年３月期中間期510,283株）を加算しております。
2.期中平均株式数（中間期）は、自己名義所有株式分を控除する他、信託が保有する自己株式（2026年３月期中間期510,407株）を控除して算定しております。

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定等については、添付資料Ｐ３「１.経営成績等の概況（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間貸借対照表 …… 4
（２）中間損益計算書 …… 6
（３）中間財務諸表に関する注記事項 …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間における世界経済は、アメリカ及びイスラエルによるイラン攻撃に端を発したホルムズ海峡封鎖による混乱に落ち着きはみられたものの、ナフサの供給不安による各種材料価格の高止まりが続き各国の経済活動も反転回復には至らず、不安定な状況で推移しました。わが国経済についても、海峡封鎖影響の長期化により、特に、ナフサ価格の高騰影響を受けるとともに、需要動向についても、先行きが非常に不透明な状況が続きました。

このような経済環境の中、当社の属するファインケミカル業界につきましては、本中間会計期間におけるホルムズ海峡封鎖による業績影響は顕著には表れませんでしたが、需要の停滞感がつづくとともに、ナフサの供給不安による原材料価格については、顕著な高騰の動きがみられました。一方、当社においては受注に大きな落ち込みはなく、主力製品においては先行発注などの動きもあり、売上高全体は増収となりました。利益面では、先述の先行発注による販売増加や海峡封鎖の影響に対する価格転嫁の取り組みにより、急激なコスト増加影響の一部を補ったものの、すべてをカバーするには至らず、厳しい状況で推移しました。

具体的な当中間会計期間における当社の売上高は、化学品事業では、紫外線吸収剤において先行発注があったほか、その他製品分野での販売強化、価格転嫁による増収もあり、事業全体として、前年同期を上回りました。ホーム産業事業では、各種製品の拡販に努めたものの、特に、木材保存薬剤の販売が振るわなかったことや、工事受注の減少により前年同期を下回りました。結果、売上高全体では、前年同期比668百万円増の5,026百万円（前年同期比15.4％増）で着地いたしました。利益面では、原材料価格高騰の影響に加え、新システム導入による減価償却費の増加などによる販売費及び一般管理費の増加があったものの、売上高の増収により、営業利益は186百万円（同78.2％増）となりました。また、営業外費用に計上している生産休止費用について、受託製造製品の取り込みにより一部工場の稼働率が改善したことなどから、前年同期から65百万円減となる20百万円の計上に留まり、経常利益は、前年の赤字着地から転じて125百万円（前年同期は経常損失16百万円）となりました。税引前中間純利益は、特別損益の計上はなく、経常利益と同額の125百万円（前年同期比403.9％増）、中間純利益は、法人税、住民税及び事業税が53百万円、法人税等調整額が△11百万円となり83百万円（前年同期は中間純利益3百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（化学品事業）

当中間会計期間の売上高は、主力製品である紫外線吸収剤が前年同期比519百万円増の2,568百万円（前年同期比25.4％増）となった他、受託製造製品が同160百万円増の1,148百万円（同16.2％増）、写真薬中間体が同49百万円増の139百万円（同55.1％増）、酸化防止剤が同43百万円増の517百万円（同9.1％増）となる一方で、製紙用薬剤が同67百万円減の105百万円（同38.9％減）となり、全体では同712百万円増の4,530百万円（同18.7％増）となりました。

（ホーム産業事業）

当中間会計期間の売上高は、木材保存薬剤の売上高が前年同期比29百万円減の412百万円（前年同期比6.6％減）となった他、その他が同14百万円減の83百万円（同14.5％減）となり、全体では同43百万円減の496百万円（同8.0％減）となりました。

（品目別販売実績）　（単位：千円，％）

セグメント別	期別 / 区分	前中間会計期間 2026年３月期		当中間会計期間 2027年３月期		増減
		金額	構成比	金額	構成比	金額
化学品事業	紫外線吸収剤	2,048,978	47.0	2,568,623	51.1	519,644
	写真薬中間体	90,273	2.1	139,969	2.8	49,695
	製紙用薬剤	172,808	4.0	105,500	2.1	△67,308
	酸化防止剤	474,233	10.9	517,564	10.3	43,331
	電子材料	18,537	0.4	21,688	0.4	3,150
	受託製造製品	988,352	22.7	1,148,619	22.9	160,267
	その他	25,092	0.6	28,584	0.6	3,491
	（小　計）	3,818,276	87.6	4,530,549	90.1	712,272
ホーム産業事業	木材保存薬剤	441,718	10.1	412,581	8.2	△29,136
	その他	97,760	2.2	83,552	1.7	△14,207
	（小　計）	539,478	12.4	496,134	9.9	△43,344
合　　計		4,357,755	100.0	5,026,683	100.0	668,928

（２）当中間期の財政状態の概況

（資産、負債及び純資産の状況）

当中間会計期間末の総資産は、前事業年度末（以下「前期末」という。）比382百万円減少し、12,435百万円となりました。流動資産は同435百万円減の7,195百万円、固定資産は同53百万円増の5,239百万円となりました。

流動資産の減少の主な要因は、受取手形及び売掛金が321百万円、商品及び製品が278百万円、それぞれ減少した一方で、原材料及び貯蔵品が72百万円、流動資産のその他が88百万円、それぞれ増加したことなどによるものであり、固定資産の増加の主な要因は、ソフトウエア仮勘定からソフトウエア勘定への振替が発生したことなどにより、ソフトウエアが136百万円増加した一方でソフトウエア仮勘定が153百万円減少したことに加え、投資有価証券が88百万円増加したことなどによるものであります。

当中間会計期間末の負債は、前期末比447百万円減少し、7,370百万円となりました。流動負債は同79百万円減の5,216百万円、固定負債は同367百万円減の2,154百万円となりました。

流動負債の減少の主な要因は、支払手形及び買掛金が41百万円、１年内返済予定の長期借入金が110百万円、未払法人税等が28百万円それぞれ減少した一方で、流動負債のその他が129百万円増加したことなどによるものであり、固定負債の減少の主な要因は、長期借入金が380百万円減少したことなどによるものであります。

当中間会計期間末の純資産は、前期末比65百万円増加し5,064百万円となりました。純資産の増加の主な要因は、中間純利益を83百万円計上したこと、その他有価証券評価差額金が64百万円増加した一方で、配当金の支払83百万円があったことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は40.7%となりました。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、ホルムズ海峡封鎖の影響が徐々に沈静化し、各国経済政策や企業の対応などについても一定の落ち着きがみられてきています。しかしながら、アメリカによるイランへの軍事行動は終息しておらず、依然として予断を許さない状況が続き、先行き不透明感の払拭にはいたっておりません。このような状況下、当社を取り巻く事業環境も同様に不透明であり、今後の業績に大きく影響を及ぼす可能性の完全な払拭には至っていませんが、当中間会計期間の業績は、前年同期に対して、増収増益で着地しました。また、直近の需要動向についても、ホルムズ海峡封鎖による甚大な影響は見られておらず、今後についても、先行発注分の反動減などの影響は予想されるものの、徐々に需要も正常化に向かうものと想定しています。加えて、主力製品をはじめとする各種製品について、販売強化を推進して参ります。一方、利益面については、高騰した原材料価格は、当面、高止まりが続くことに加え、製品価格は、早期に値戻しの動きに移行することが予想され、一時的に収益を大きく圧迫すると思われますが、引き続き各種コストの低減に努めるとともに、適正価格による販売継続にも取り組んでまいります。

これらを踏まえ、現段階では通期業績予想の修正はいたしませんが、引き続き慎重に業績の進捗を判断し、適時に見直して参る計画であります。業績予想の修正を決定した場合には速やかに開示いたします。

２．中間財務諸表及び主な注記

（１）中間貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2026年３月31日)	当中間会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,673,024	1,637,375
受取手形及び売掛金	2,116,851	1,795,608
電子記録債権	42,248	64,457
商品及び製品	2,951,965	2,673,272
仕掛品	54,482	70,393
原材料及び貯蔵品	663,780	736,748
その他	129,285	218,130
貸倒引当金	△434	△374
流動資産合計	7,631,202	7,195,612
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	871,389	890,918
土地	2,856,882	2,856,882
その他（純額）	910,013	895,656
有形固定資産合計	4,638,285	4,643,458
無形固定資産		
ソフトウエア	19,422	155,447
ソフトウエア仮勘定	153,975	－
その他	7,979	7,979
無形固定資産合計	181,377	163,427
投資その他の資産		
投資有価証券	210,743	299,265
その他	169,901	147,158
貸倒引当金	△13,824	△13,674
投資その他の資産合計	366,819	432,749
固定資産合計	5,186,482	5,239,635
資産合計	12,817,685	12,435,248

（単位：千円）

	前事業年度 （2026年３月31日）	当中間会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	876,796	834,818
電子記録債務	464,930	434,256
短期借入金	2,250,000	2,250,000
１年内返済予定の長期借入金	965,000	855,000
未払法人税等	100,530	72,112
賞与引当金	99,403	100,903
その他	539,613	669,338
流動負債合計	5,296,274	5,216,430
固定負債		
長期借入金	1,667,500	1,287,500
退職給付引当金	611,943	616,218
役員株式給付引当金	－	3,316
従業員株式給付引当金	12,497	16,370
その他	229,801	230,736
固定負債合計	2,521,741	2,154,142
負債合計	7,818,015	7,370,572
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,155,352	2,155,352
資本剰余金	1,060,713	1,060,713
利益剰余金	1,832,295	1,832,695
自己株式	△174,341	△174,263
株主資本合計	4,874,019	4,874,497
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	125,650	190,177
評価・換算差額等合計	125,650	190,177
純資産合計	4,999,669	5,064,675
負債純資産合計	12,817,685	12,435,248

（２）中間損益計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	4,357,755	5,026,683
売上原価	3,712,802	4,250,215
売上総利益	644,953	776,467
販売費及び一般管理費	540,068	589,592
営業利益	104,884	186,875
営業外収益		
受取利息	590	910
受取配当金	4,186	3,108
受取賃貸料	3,600	3,600
その他	2,136	3,193
営業外収益合計	10,513	10,812
営業外費用		
支払利息	40,882	47,702
生産休止費用	85,343	20,005
賃貸収入原価	229	229
その他	5,886	3,818
営業外費用合計	132,342	71,756
経常利益又は経常損失（△）	△16,944	125,930
特別利益		
保険解約返戻金	41,933	－
特別利益合計	41,933	－
税引前中間純利益	24,988	125,930
法人税、住民税及び事業税	12,688	53,772
法人税等調整額	8,935	△11,359
法人税等合計	21,624	42,413
中間純利益	3,364	83,517

（３）中間財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間会計期間（自2025年４月１日　至2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計
	化学品事業	ホーム産業事業	
売上高			
紫外線吸収剤	2,048,978	－	2,048,978
写真薬中間体	90,273	－	90,273
製紙用薬剤	172,808	－	172,808
酸化防止剤	474,233	－	474,233
電子材料	18,537	－	18,537
受託製造製品	988,352	－	988,352
木材保存薬剤	－	441,718	441,718
その他	25,092	97,760	122,852
顧客との契約から生じる収益	3,818,276	539,478	4,357,755
外部顧客への売上高	3,818,276	539,478	4,357,755
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－
計	3,818,276	539,478	4,357,755
セグメント利益	330,125	22,609	352,735

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利　　益	金　　額
報告セグメント計	352,735
全社費用（注）	△247,850
中間損益計算書の営業利益	104,884

（注）　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間会計期間（自2026年４月１日　至2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計
	化学品事業	ホーム産業事業	
売上高			
紫外線吸収剤	2,568,623	－	2,568,623
写真薬中間体	139,969	－	139,969
製紙用薬剤	105,500	－	105,500
酸化防止剤	517,564	－	517,564
電子材料	21,688	－	21,688
受託製造製品	1,148,619	－	1,148,619
木材保存薬剤	－	412,581	412,581
その他	28,584	83,552	112,136
顧客との契約から生じる収益	4,530,549	496,134	5,026,683
外部顧客への売上高	4,530,549	496,134	5,026,683
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－
計	4,530,549	496,134	5,026,683
セグメント利益	465,700	9,692	475,393

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利　　益	金　　額
報告セグメント計	475,393
全社費用（注）	△288,518
中間損益計算書の営業利益	186,875

（注）　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。